

平成7年全国女性建築士連絡協議会を 岐阜に迎えて 林 直見

■はじめに

今年度の全国女性建築士連絡協議会（以降、「全建女」）は、本来昨年の大会のうちに兵庫県神戸市において開催されることが決定され、準備が進められておりました。

ところが、去る1月17日に発生した阪神大震災により、ご不幸にも神戸市において開催することが不可能となり、急遽変更を余儀なくされたものであります。

そこで、連合会から全建女大会の「緊急アンケート調査」のFAXが全国に送られ、当岐阜県にも届きました。内容は開催地変更についてで、第1案は東京で開催、第2案は岐阜で開催、第3案は中止とあり、驚いてしまいました。

と申しますのは、私自身心の準備が出来ていなかったこともさることながら、岐阜県建築士会女性委員会は人数も少なく、大きな大会を受け入れる体制と、大会までの準備期間が少ない状況下にあったため、不安ととまどいを隠せませんでした。

したがって、今回の大会ご出席の皆様方に、準備不足と会場への交通アクセスの不便さで、ご不自由、ご迷惑をおかけいたしました点につきまして、この書面をもってお詫び申し上げます。

おかげをもちまして、全国から150余名の皆様方をお迎えし、何とか会をとどこおりなく終了できましたことは、多くの方々のお力添えがあつたのと、ありがたく感謝申し上げます。

■岐阜、候補地に

「開催地岐阜」という意味につきましては、岐阜県で、平成元年度より「女性の夢づくり・住まいづくり」設計競技を行い、平成4年度からは更に「国

際女性の夢づくり・住まいづくり推進事業」と改名して、女性の目から見た住まいづくり推進をしております。

今回、この事業が5回目の節目に当たると同時に、今年度は、岐阜県事業「花フェスタ'95」の開催が5月に予定されていたため、この国際女性の設計コンペ表彰式がそれに合わせて企画され、併せて「国際女性建築家フォーラム」を開催することになっておりました。

このように、岐阜県には開催地としての状況設定があり、本年度の全建女の開催時期より2週間程早くなりますが、同時期の方が相互に相乗効果をもたらすとの意味もあり、候補地として上がったようであります。

しかし、連合会からのアンケートが2月9日に届き、その回答結果が2月22日に出されました。その中にはほぼ開催地は岐阜に決定とありましたが、3月23日の理事会で正式に決定されるまでの1カ月間は「内定」という前提条件がついてしまいました。

■大会に向けての取り組み

こうした不安定な状況下にあつて、大会までは2カ月余しかなく準備を進めざるを得ませんでした。

そのため、3月の女性委員会例会では、全女性委員に緊急連絡をし、内定のまま、実行プロジェクトチームをつくり、委員長と副委員長とは2人3脚で組み、連合会との窓口の一本化と各仕事分担の明確さを打ち出し、短期取り組み体制の準備に入りました。

こうして、多くの方々のご助力により、当日までの準備、当日の運営等を無事乗り切ることが出来ました。



建築士 '95.11

■大会後の反省

後日、皆との反省会の折には、一日のスケジュールがあわたしかなかった、進行の時間配分を各当事者が認識すべきであった、運営費をきちんと予算化して、各単位数会に「全て委せる」方法をとってほしかった等の意見が出て来ておりました。

今後地方での大会が増加していくと考えられますが、あくまでも連合会主導型でいかれるとすれば、価値判断を行う折、大都市と地方都市の違いを考慮に入れた企画をしていただきたいと思います。

■大会を岐阜に迎えて

岐阜県は、平成元年の親会の全国大会（岐阜大会）の折、この全建女の準備会が発足した場所でもあります。

その時、全国の女性建築士70余名が一堂に会したのも、つい昨日のように思い出されて来ました。

今回は、出席者が150余名で、当時と比較すると2倍に増加しています。このことは、全国的に単位数会の女性建築士の増加と活動の活発さの裏づけであり、全国的に女性建築士が増加している証拠ともとられました。

この全建女の協議会を岐阜に迎え、地方側で活動して来た一女性委員長として、この大会の意義について3点程感じたことがあります。

まず第1に、この大会は学会のような研究者の集まりではなく、大半が実践メンバーであること、第2に、大会に掲げるテーマが当初の高齢者問題に始まり、今年は自然環境との共生、また、今年大問題となった地震災害の問題を取り入れ、時代を見据えており、回を追うごとに充実さがうかがえるようになって来ております。我々地方にいる者にとって、全国での統一テーマのもと、各地方性を出した取り組みが新たな展開をし、全国各県との交流ネットワークが、大会をベースに幅広く情報を得ることが出来、

それぞれの蓄積になると考えられます。第3に、この大会がこれまでの大都市で行うのではなく、私達のような微力な県でこの大会を行うことは、大会に出席しない県内の女性建築士への啓発になると感じました。たとえば、会の討議を直かに聞き、同時に他県の同職の人々との交流が出来る等、今後女性建築士が増加すればする程その意味は深いと感じました。

このことは、単に女性建築士のみならず、今日、地方の時代ということもあり、地元報道機関に情報を入れたところ、各社がそれぞれ問題意識を持って取り組んでいるテーマを、分科会の中から選択して各社の報道記事として取り上げておりました。

またNHKでは、午後7時の一般ニュースで取り上げられており、後日一般の人々から「女性建築士」への素直な反応が帰って来て、単に女性建築士のみでなく、一般市民への波及をも感じ取ることができました。

■おわりに

いずれにしましても、岐阜県建築士会女性委員会は、手探りの状況でまいりましたが、皆の力を合わせた団結力が、1つの新たな力を生むことをも学び取ることが出来、女性委員皆、改めて感謝いたしております。この大会が各委員1人1人の意識の起爆剤となり、これを機にさらなる飛躍を期待しております。

また、この大会を通じて全国の多くの方々との交流が出来ましたことを、改めてお礼申し上げます。

全国の皆様方が、地方都市「岐阜」をいろいろな意味で知っていただいたことを大変うれしく思っております。

今後この大会が、回を重ねるごとにより充実し、交流の場が広がり、女性建築士全体がさらに向上することを希望しております。

(岐阜県建築士会女性委員長)



女性委員会
だより
Vol. 1

月例会・研修会の報告

1. 日時：平成7年6月1日
2. 出席者：小林 河内 橋本 林 神戸 飯沼 徳井 鈴木 井上
3. 内容：① 女性建築士連絡協議会全日大会の反省とこれからの展望

② 新旧役員への引き継ぎ

③ 法規勉強会

① 岐阜県(主催県)が画けた配置に

昼食場所の問題 (狭い)

分科会の席のむき方 (互いの顔も確認できない。etc)

バスでの移動の問題 (人数配分 → 二台はいっぱい、三台目はガラガラ)

② 林委員長、神戸副委員長 おつかれ様でした。

③ 各行政(市町村)での見解のくいちがい
自分のストーリーを決めていく → ストーリー性をいかにむつか

岐阜県内の確認業務のマニュアルを作成してはどうか

・訂正印の件

・概要書の配置図は両取りを入れたい

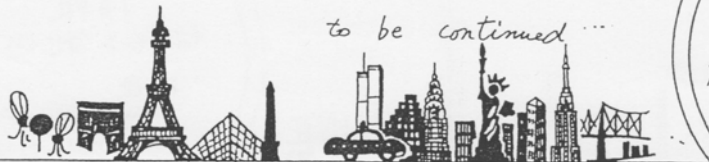
・岐阜市はおりのまでに時間がかかる

・完了届の扱い → 岐阜県は出さない

(責任のなれ??)

・フロッピーの問題点

to be continued ...



一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております!

今月の報告担当者

井上

私の近況報告

最近の確認業務よりも
開発関係の仕事が多く

基準法も手に取るレベル
少なくなってきた...

例会もなかなか参加できず

子供が

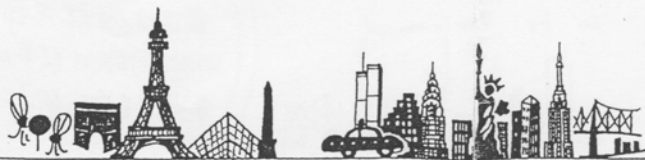
できたので参加しにくくなりました

◇ 5月のトピック ◇

- 5月17日（岐阜会館にて）
岐阜県建築士会総会の席にて清水さん表彰される。（建築士会会長賞）
これからもがんばってください。
- 5月21日（羽島市民会館にて）
第1回「ボランティアの日」障害者・高齢者の住宅相談コーナーを神戸、
小林、横井の3名が担当しました。
- 5月25日（ふれあい会館にて）
平成7年全国女性建築士連絡協議会が女性建築士約150名の参加のもと、
岐阜で開催されました。
人と自然にやさしい住宅づくり”自然環境との共生”をテーマに「高齢社
会」、「自然環境との共生」、「震災と住宅」、「女性建築士の働く環境」
の4分科会にても討議がなされました。
県をはじめ士会員の皆様方のおかげで無事終了。ありがとうございました。
（林委員長談）
- 5月26日（未来会館にて）
国際女性建築家フォーラムが開催され、林委員長が岐阜県建築士会女性委
員会の活動報告をしました。そしてさらに地元建築家の正当な評価をして
ほしい。つまりエンジニア的な仕事だけではなく、建築家本来のもつアー
キテクチャーとしての仕事の機会を与えるようにしてほしい。「地方の時
代」が来ようとしている今こそ、必要性を感じている。今回「国際フォー
ラム」が岐阜で開催されたことは地元建築家活用への起爆材となり、有り
難いと述べました。

◇ お知らせ ◇

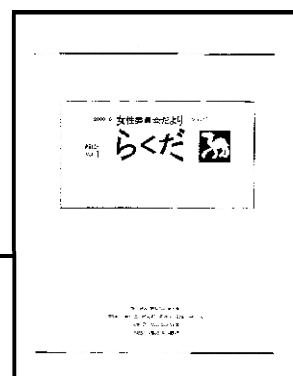
1. 建築文化講演会は11月開催予定が2月に変更となりました。
2. 第38回建築士会全国大会（青森県）参加者を募集します。
参加希望者は7月10日までに委員長に申し出てください。詳細は建築士5月
号にあります。不明な点は委員長までどうぞ。
3. 震災建物応急危険度判定士講習会が10～11月頃実施される予定です。
4. 青年委員会より
 - ・7月研修会（CAD研修）は巧建設計にて行います。女性委員会でも8月に
CAD研修会を予定していますが、この研修会にも参加されることをお勧め
します。研修会にはどんどん参加しましょう！
 - ・7月22日にバーベキューを計画しています。参加希望者は担当（桑原・宮
崎）まで申し出てください。多くの参加をお待ちしています。



一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております！

けんさんから
“情報”
何でもお寄せください。

松原
FAX 0584-45-5346
TEL 0584-92-2582



女性委員会だより



■ ごあいさつ

◆委員長 河内美代子

皆さん、こんにちは。暑い日々が続きますがいかがお過ごしでしょうか？ 4月にお知らせしました、3ヶ月に一度(程度)を目指すこのお便りが何とか完成し、皆さんのお手元へ郵送できる運びとなりました。

今年度から全女性会員をメンバーとして委員会活動をはじめ、5月にはメーリングリスト(ML)も立ち上げました。今回お届けするこのお便りは通算では71号、ニューヴァージョンとしては記念すべき創刊号です。名前は「らくだ」(楽だ!)テクテクとマイペースで行こうという気持ちを込めてのネーミングです。女性委員会は年齢も立場も様々ですが、女性同士というキーワードのもと、楽しく、情報交換、勉強会など進めてまいりたいと思いますのでよろしく願います。

今回の記事

- 今後の予定
- ブロック会議の報告
- 森林文化アカデミーのこと
- メーリングリストへの参加呼びかけ
- 全国女性建築士連絡協議会の報告
 - ・全国委員長会議
 - ・全体会・分科会・見学会
- 女性建築士のつどい(仮称)のこと



■今後の予定

- 9月7日 奈良薬師寺大講堂見学会(詳細は未定)
※詳細が決まり次第MLで案内予定(MLに参加していない参加希望者には別途案内を出しますので事務局女性委員会担当まで連絡ください。)
- 10/5 建築士会全国大会(仙台市)
- 11/9 (社)岐阜県建築士会設立50周年記念事業(岐阜グランドホテル)
- 11月下旬 女性建築士のつどい(詳細は未定)
- 3/9.10 H13年度 建築士会東海北陸ブロック会議女性建築士協議会後期会議(福井県武生市)
- 9月、11月、1月、3月(2ヶ月に1回程度)に必要な委員会運営会議開催予定

■メーリングリストのこと

前回のお便りにも紹介しましたが、メーリングリストを活用することにより随時双方向の情報交換ができます。1人でも多くの方にご参加いただければと思います。メーリングリストの詳しいことは次のページを参照ください。今回執筆担当してくれた濱本さんがわかる範囲内でならアドバイスOKとのこと。濱本さんの連絡先 TEL0584-64-6208)

kaohama@basil.freemail.ne.jp

■女性建築士のつどい(仮称)のこと

11月下旬頃に全女性の集いを企画します。親睦をメインに研修会も入れた内容にしたいと考えていますが、日にち・時間帯・内容などについて皆さんにアンケートして決めていきたいと思いますので別紙のアンケートにご協力よろしく願います。